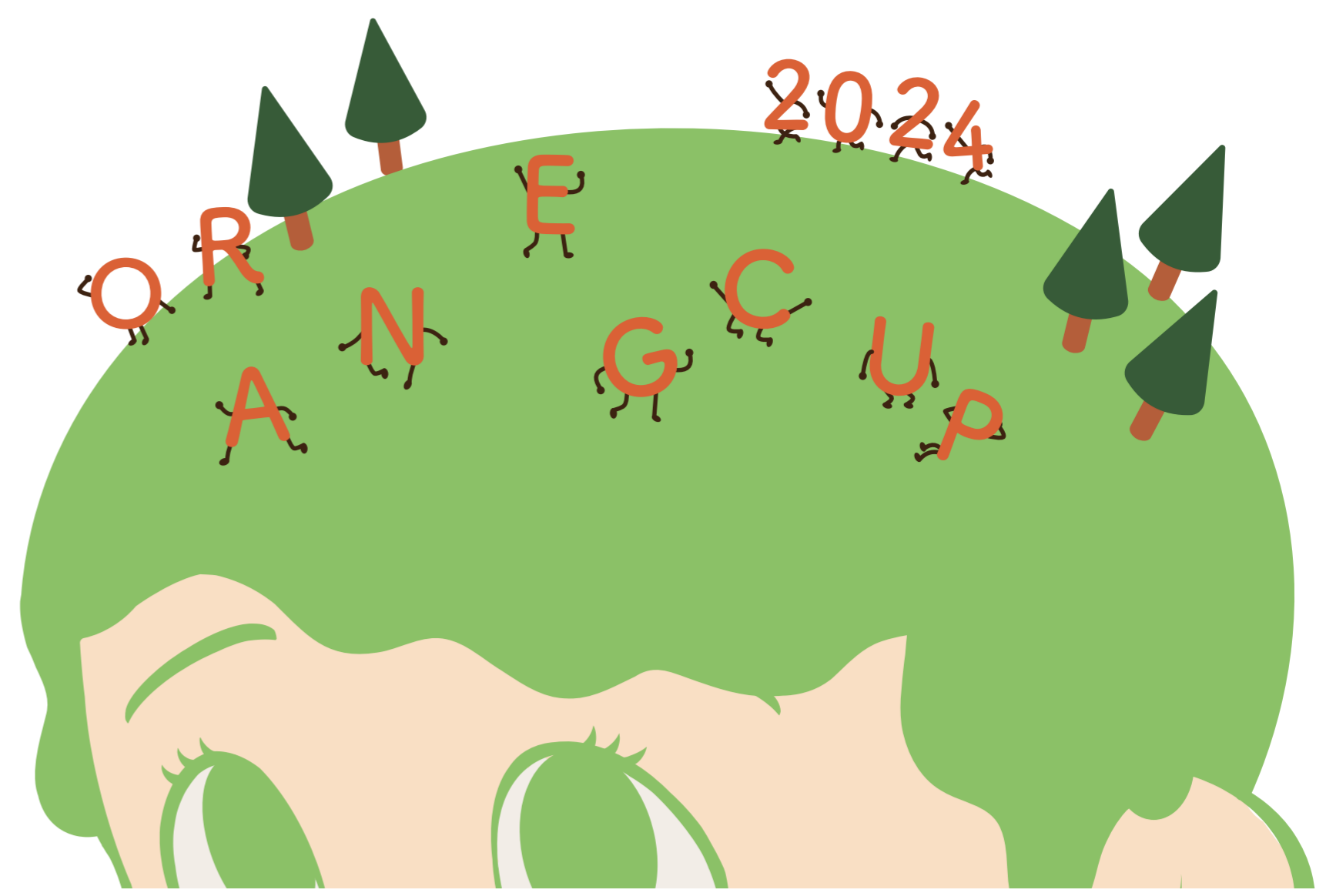


ORANGE CUP 2024

拓殖大学 工学部 第14回 アイデアのタネコンテスト

テーマ **未来の公園** 新しい発想で公園を活かそう



内田 のぞみ / 東明館高等学校

キャッチフレーズ

やくそくの木

アイデアの説明

近所の公園を考えたとき、おじいちゃんおばあちゃんしか利用していない現状や時計・ベンチが少なく集まりにくいことを踏まえ、「学生や大人など子供だけでなく多くの人を通る、人々の中心となる場所」であってほしいと考えた。そのため、普段から利用する環境が必要だと思い、「まちあわせ」をキーワードに、小学生からお年寄りまで利用しやすい場所を目指す。

待ち合わせの時、相手が来なくて本当にこの時間であっていただろうかと不安になったり、広い場所であれば、同じところいても相手の姿が見えなかったり。また、集合場所につく前に相手が既についているのか、待っている間が暇になるなどの小さな不安、問題を感じたことがあると思う。

操作モニター
指紋認証と顔認証またはスマホのアプリをかざしてログインする。

案内 ①
「かざしてください」

②
「次の予定を立てて知の予約を入れる、待ち合わせ相手を探す、今の自分の予定を入れるの操作ができる」

③
「今の状況」ボタン
今自分が避ける、向かっている、だめなどが選べる

③
「次の予定の通知が入れることが可能」

③登録しており、よく遊ぶ友達をリストアップされる。
友達の状況を確認し、連絡したり着いたことを知らせることができる。
また、保護者への連絡なども可能。

アプリ画面の参考→

アプリ内では、今日の予定の確認、今の友達の状況の確認、自分の状況の入力などが可能。公園で友達に送る連絡方法には、家の電話、携帯電話、メールアドレス、ラインなどが可能。

太陽光発電 兼
温度で色が変化する温度計版

分刻みで色が変化
色時計
(四季の色になる。)

2時、3時など
時間ごとで色が変化
色時計

360°回転可能、高さ
調節も可能な机

360°回転可能、二つ
折りにになっている椅子

小さい子でも温度、時間が色でわかるようになっている。
今回は4時40分を示している。

椅子には小さくほみなどボールを置いたり座りやすくなっている

スマホなどの連絡手段を持っていない、小学生やお年寄りなら尚更で、待ちぼうけになることは子供のころに一度は経験したことがないだろうか。そんなまちあわせを誰でもスムーズにできるようになれば、と思い、必要な機能を盛り込んだこのツリー型遊具を提案する。

小学生であれば、自分で時計や連絡手段を持っていないことから、時間や今の気温、友達への状態がわかるような機能。お年寄りであれば、休憩場所になり、相手の家の電話に連絡ができるような機能をつかった。

どの年代でも、指紋認証・顔認証で登録することができ、保護者たちは子供たちが公園で機能を利用すると連絡が行くように設定することも可能。

多くの年代が、安心して利用できる「待ち合わせ場所」として利用し、地域全体の安全性・連携の向上や新しい使い方の考案などが期待できる。